

令和6年度 第2回 東大谷高等学校 学校協議会 実施報告書

校名 東大谷高等学校

校長 長尾 文孝

日 時	令和7年3月8日（土）14:00～15:30
場 所	東大谷高等学校 3階 多目的室1
出席者	委 員 東 京子氏（成美会役員）、丸岡俊介氏（関西大学教職支援センター特任教授） 中村俊一氏（立志館ゼミナール代表取締役兼館長） 赤阪博之氏（堺市立三原台中学校校長）、大橋敏宏氏（和泉市立北池田中学校校長） 宮坂政宏氏（週刊教育プロ編集員） 事務局 長尾文孝（校長）、市居政彦（教頭）、東 明美（教務部長） 出水謙一郎（入試対策部長）、志藤真裕（情報部長）、吉永雅也（生活指導部長） 甘木智美（進路指導部長）
傍聴者	無し
欠席者	加藤ちえこ氏（令和6年度PTA会長）
議題等	1. 校長挨拶 2. 委員紹介及び事務局・出席者紹介 3. 議長選出 4. 協議・報告 (1) 学校全般について（校長） (2) 大阪大谷大学高大連携プログラム状況（教務部長） (3) 令和7年度入試結果（入試対策部長） (4) 令和6年度3年生大学等入試結果（進路指導部長） (5) 学校評価アンケートについて（教頭） (6) 授業アンケートについて（教頭） 5. 意見 6. その他
協議内容 意見・提言	大阪大谷大学教育学部の教員採用結果や評判はよい。 法句経はどのように活用されているのか。 東大谷に入学した生徒の対応：黄金の3日間の指導の確立が必要。 キャリア教育が大学に進学することが目標になっていないか。 情報過多の社会において感情のコントロール・心の成長を望む。 宗教行事における心の共育は、非常に大切であるからもっと前面に。 (5) 学校評価アンケートについて ・ 1年生が一番高い数値、これは専願率の高さが影響しているのか。 ・ 家庭学習の数値の低さについては対策が必要、また、家庭学習でフォーサイト手帳の活用。 ・ 第2学年の数値が他学年より低いため、何か問題があるのか、あれば早急に対応が必要。 (6) 授業アンケートについて ・ 設問の見直しやコースごとの集計の作成の提案。
協議資料	（資料1） 本校の現況 （資料2） 令和7年度本校入試結果 （資料3） 令和7年度大学入試 合格実績 （資料4） アンケート結果（学校評価、授業）